

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	海洋建築計画小委員会	主 査 名：小林 昭男 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築本委員会	委員長名：横内 憲久 主 査 名：
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築計画の観点から、これまでに建設された国内外の海洋建築物の調査を行い、今後の設計・計画に役立つよう利用目的別にデータベースを構築する。</li> <li>・2008 年度は海中展望塔の調査を行い、データベース化に向けた整理を行うと共に、海中展望塔の存続理由を重点調査する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り	
	主査・小林昭男(日本大学) 幹事 三溝裕之(日本工営株) 荻原みき(東京電力株) 熊田貴之(株水圏コンサルタント) 田島洋輔(株建設技術研究所) 星上幸良(国際航業株) 山本和清(日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2008 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv. aij. or. jp/kaiyo/s0/index. htm">http://news-sv. aij. or. jp/kaiyo/s0/index. htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 「ドバイにおける海洋建築の現状」 報告会 参加者数 38 名 (資料名：同上)
大会研究集会	1. 巖島神社にみる海洋建築の技と匠 参加者数 45 名 研究協議会資料「巖島神社にみる海洋建築の技と匠」
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 2009 年度大会学術講演会において、海中展望塔の現状に関する調査研究の成果発表を行い、出席者との意見交換を実施する予定。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 主要な海中展望塔の現状の利用状況、入場者数の推移、収支が調査された。 2. 海中展望塔の存続理由を説明することができた。 3. 報告を実施し、広く会員および一般に活動を知らしめた。
委員会活動の問題点・課題	1. 遠隔地の施設の効果的かつ効率的な調査方法が課題。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。